

# 34. 同種移植後サイトメガロウイルス感染のリスク因子

## 研究の概要

同種移植後のサイトメガロウイルス(CMV)感染に対して定期モニタリングによる先制治療が標準的に用いられてきましたが、長期の抗CMV薬投与による副作用や薬剤介入前のCMV感染症が問題となってきた。これまでも国内外でCMV感染に関するリスク因子の解析は行われてきましたが、本邦で多い臍帯血移植やATLに対する移植で十分な評価が行われているとは言えません。

## 研究の目的と方法

2014年1月から2017年12月までの間に当院で同種移植を行い30日以上生存し、ドナー及びレシピエントのCMV抗体が判明し、CMV予防を行っていない患者様に関して、カルテデータを用いて後方視的に解析します。

## 本研究の参加について

本研究により患者様に新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問合せ先までご連絡ください。

## 調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存のカルテデータ(問診記録、身体所見、検査データ)を用いて実施する研究です。研究対象者(患者様)の個人情報(氏名、住所、電話番号)は記載せず、個人情報(氏名、住所、電話番号)は特定されません。

## 調査期間

研究期間：2018年9月22日～2019年3月31日(調査対象期間：2014年1月～2019年3月)

## 研究成果の発表

研究成果については、学会、論文などでの発表を予定しています。

## 研究代表者

血液内科 河北敏郎

当院における研究責任者

血液内科 河北敏郎

問い合わせ先

血液内科 河北敏郎

TEL: 096-353-6501